

長崎大学生協 留学生企画「Japanese Cooking Club」

第33号
(通算543号)



[組合員交流]

取り組み概要

日時：2023年5月27日 10:00~14:00
場所：長崎大学 文教キャンパス
参加者数や組合員の反応：
参加者数27人(定員30人)
うち留学生21人、日本人学生6人

きっかけ：生協主催のヴィーガン試食会で留学生と交流したことがきっかけです。長崎大学には多くの留学生が通っています。留学生を含め、誰もが生協を利用したくなるために考えたのがこの企画になります。

留学生を含め、

POINT.1

企画のゴールを明確に！



今回の留学生企画では3つのゴールを立てて開催しました。1.企画を通して日本に対する興味が湧いてくる。2.留学生にとって利用しやすい生協についての意見が集まっている。3.日本人学生と留学生が交流できている。この3つのゴールを達成するために、食堂、店舗、書店を学生委員会(組織部員)が紹介をする生協ツアー、折り紙やけん玉、あやとりを行う昔遊び、日本料理づくりを行いました。

POINT.2

留学生企画後も視野に入れながら！

留学生企画をただ実施するのではなく、その後留学生の意見や要望を取り入れみんなが利用したくなる生協作りも視野に入れながら企画を実施しました。留学生企画を通して、「外国語表記は英語だけでは足りない(中国語等の表記も必要)」など留学生の意見や要望を聞くことができていました。企画を行って終わりではなく、生協運営にどう反映することができるかや組合員の生活がどう良くなるかが重要になってくると思います。



POINT.3

協同・連帯を生かして開催



この留学生企画は、長崎大学生協組織部だけでなくさまざまな人を巻き込みながら実施をしました。九州ブロックの仲間である、立命館アジア太平洋大学(APU)の学生委員会に運営のアドバイスをもらい、生協職員の方に予算の確保、食堂利用、食材の用意、広報を行っていただきました。また留学生への広報では、長崎大学の留学生支援課に大規模なメール告知を行っていただきました。自大学生協だけでなく、大学や他の学生委員会と協力しながら実施することで、大きな成功を収めました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [儀満 政寿]
Gima.Seiju@univ.coop

